

 **東京PCB廃棄物処理事業だより (No.41)**

平成27年度事業所方針について



平成27年4月1日、新年度のスタートにあたり所長から全職員に訓示がありました。その内容は、平成26年度処理目標はほぼ達成したこと、平成27年度は平成26年度に策定した長期処理計画及び長期保全計画に基づき、安全で安定した操業及び保全を実践し、PCB廃棄物の早期処理完遂をめざして確実に処理を進めていくことなどです。また、今年度方針として下記の項目が示され、全員で確実に実行していくことを誓いました。

- 平成27年度 JESCO東京PCB処理事業所方針**
1. **安全で信頼される操業体制を維持する。**
 2. **処理施設の安定操業を確保し、長期処理計画を推進する。**
 3. **工程内処理残渣及び運転廃棄物の処理を促進する。**
 4. **処理施設の長期保全計画に基づき、健全なる設備の保全・更新に努める。**

東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での平成27年1月～3月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	1月～3月 処理台数	操業開始からの 処理台数の累計
トランス類	107台	2,763台
コンデンサ類	1,810台	35,558台

* 連結コンデンサは、内部に含まれる台数でカウントしています。

* 低濃度PCB廃棄物については、平成25年6月に処理を完了いたしました。

東京PCB廃棄物処理事業環境安全委員会が開催されました。

平成27年3月23日、江東区東陽町にて第33回環境安全委員会（委員長：中杉修身 元上智大学大学院教授）が開催されました。

議題1として、平成26年度下期の施設稼働状況や環境モニタリングの結果、運転時トラブルの状況、運転及び設備の対策・改善、安全衛生管理活動、教育・訓練等について報告しました。

運転時トラブルの状況では、1件目として、平成26年10月に発生した水熱分解設備No.1再生熱交換器出口連絡管からの蒸気漏れについて、作業環境測定を実施した結果、PCBは検出されず作業環境への影響はなかったこと。また、ファイバースコープによる熱交換器出口連絡管全管の目視検査および、超音波探傷検査を行い、減肉が確認され問題となる部分は全て新たな配管に取り換えたことを報告しました。2件目として、水熱分解設備再生熱交換器出口連絡管における一連の漏洩事象への対応として、平成27年度中に再生熱交換器出口連絡管からの蒸気漏れに対応し3系列の順次全面取替を実施すること、また、早期発見の取り組みとして設備パトロールの強化等を実施することを報告しました。

議題2として、今後の設備老朽化に対応して策定した長期保全計画について、

議題3として、リン化合物含有PCBの前処理の検討について、を報告しました。

このほか、トラブル発生時の委員への連絡手順を確認していただきました。

委員からは、進捗率の内容を分かりやすくする必要性についてのご意見がありました。また、東京都からはJESCOに対し地元自治体の理解を得るための的確、十分な説明を行っていくことなどの要望がありました。

いただいた貴重なご意見・ご助言等を施設の運営・管理に反映し、引続き安全・確実な処理を行ってまいります。



環境安全委員会の様子

首都圏広域協議会の開催について

平成27年3月11日、東京都庁にて第19回「首都圏広域協議会」が開催されました。広域協議会は1都3県及び10市で構成され、東京PCB廃棄物処理事業に係る広域調整に関して、安全の確保及び連絡調整を図ることを目的として開催されます。

会議では、最初に会長である東京都から、国の基本計画改定の経緯、改定に当たっての地元の意見、安定器の処理料金改定、今後の処理対象物の掘り起し、およびJESCOと各自治体との連携の重要性の話がありました。次に各自治体から処理促進のための掘り起しや現地調査等の取り組みの報告がありました。続いて環境省から、平成27年2月25日に開催されたPCB廃棄物早期処理関係者連絡会についての報告がありました。

当社からは、①安定器等・汚染物の処理開始に当たっての特別登録割引制度等、②PCB廃棄処理委託費用の分割払い制度の導入、③トランス・コンデンサの処理完了に向けた営業活動の考え方、④平成26年度の処理実績、⑤平成27年度受け入れ予定量、⑥処理の進捗状況、および⑦1都3県に係る重点搬入計画の報告を行いました。

出席自治体からは、安定器等の特別登録の方法、重点搬入計画のスケジュール等についての質問がありました。

PCBの処理推進に向けて、有意義な意見交換がなされました。

少量保管事業者に対する説明会の開催について



少量保管事業者処理説明会の様子

当社では、PCB廃棄物（トランス、コンデンサ等）の少量保管事業者を対象に、「PCB廃棄物処理説明会」を開催しています。

平成27年3月6日の説明会では、神奈川県内の合わせて66社の事業者の方々にご出席いただきました。

説明会では、平成27年9月の重点搬入期間に向けて、受入までに行っていただく中小企業者等軽減制度申請や当社との契約手続、収集運搬事業者による積み合わせ運搬等の説明を行いました。

今後もPCB廃棄物の全量処理を目指し、定期的に処理説明会を開催してまいります。

総合防災訓練の実施について

総合防災訓練を3月27日に実施しました。東京湾北部を震源とする震度6強、250ガルの地震により、屋外危険物タンクより防油堤内に液が漏洩し、漏れた液に着火、火災が発生、との想定で実施したものです。

自衛防災組織の担当毎に事前検討会を実施し、活動内容及び役割分担等の確認を行いました。訓練は対策本部及び現地指揮本部の連携のもと、大きな混乱なく実施ができました。

なお、今回の訓練は臨港消防署にも参加いただき、放水車からの放水訓練も行われました。また、地元東京都環境局及び江東区の担当者の方々にも立会い・助言をいただきました。

今後とも、定期的に訓練を実施し、さらにレベルアップを図ってまいります。



総合防災訓練の様子

平成26年度の施設見学者数について

平成26年度は合計694人の方々に施設見学にお越しいただきました。見学者は、保管事業者の方、官公庁の方、学生、スーパーエコツアーの参加者、海外からの方などさまざまです。

平成26年度 見学者数

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計
団体数	16団体	22団体	19団体	13団体	70団体
見学者数	136人	205人	235人	118人	694人

見学は火曜日と木曜日に実施しています。希望される場合は、下記の電話番号へご連絡ください。



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所
〒135-0064 江東区青海三丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）
Tel.03-3599-6023
<http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>